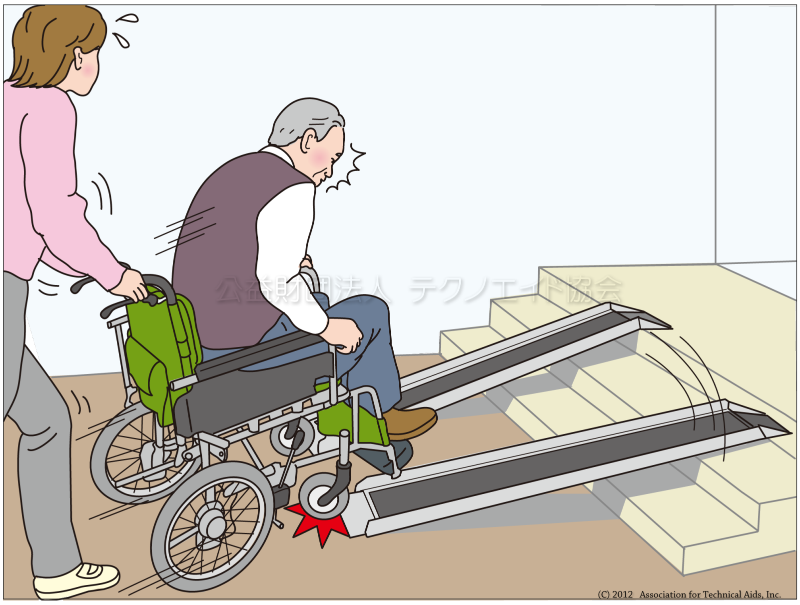
福祉用具ヒヤリハット情報

Case：223

うまくキャスタを乗せられず、操作を繰り返すうちにスロープが外れてしまう

場面の説明

左右それぞれのスロープにキャスタをうまく乗せることができず、操作を繰り返すうちにキャスタでひっかけてスロープが外れてしまった



利用シーン	移動 階段の昇り降り 外出
主な利用場所	階段 玄関 段差・縁石
介護保険の種目	スロープ
分類コード(CCTA95)	183015(携帯用スロープ)
介護テクノロジー	−
二次元バーコード	

解説

特にレール形のスロープでありがちな事例です。レール形スロープの設置は、左右のレールが車いすのタイヤ幅と一致していることが安全な使用には重要なポイントです。床と段上に印をつける工夫は、簡単ではありますが効果が大きくお勧めです。

参考要因

人：操作に不慣れだった
環境：スロープの設置位置が合っていなかった
環境：狭い場所だった

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.